

「サビない」が標準

スイミングで使用するロッカーの最大の敵は「サビ」
水に強く、丈夫でカラフルな色を兼ね備えた
FUJIPLAの詳細については

フジプラロッカー

検索



東京スイミングセンター



株式会社フジ フジプラ事業部
<http://www.fuji-locker.com/>

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-16-12 フジビル
TEL 03-5850-4555 FAX 03-3807-5252
E-mail fujipla@fuji-ya.co.jp

経費を考えても、これからのロッカーの主流はプラスチックがおすすめ!



北島効果は遂にロッカールーム大改修へ 金メダルがもたらした東京SCの盛況ぶり



出垣宏務総務部次長

オリンピックで選手が活躍すると、所属のスイミングクラブはどうなるか? これまで様々なことが伝えられていた。ソウル五輪の鈴木大地選手(セントラルスポーツ)、バルセロナ五輪の岩崎恭子選手(沼津SC)は金メダルに輝いた。だが「金メダル効果」で子供たちが集まったとは聞いていない。古くは小学生で日本選手権を制した長崎安子選手(秋田AC)の場合、経営難だった所属クラブに「水泳ブーム」を作ったと巷間言われている。

アテネ五輪・北京五輪で連続金メダルを獲得した北島康介選手(東京SC)の場合はどうなっているのか? 「入会待ち状態が続いている」と噂される東京SCを訪ね、出垣宏務総務部次長にお話を聞いた。

「北京五輪が終わって2年経ちますが、時代の流れに逆らって子供の会員数が急増して、現在子供だけで3500名いるんです」と打ち明けてくれた。東京SCはご存知の通り50mプール。そこでレッスンを行なえば、通常の25mコースのクラブの倍は受け入れることが出来る。北島選手の活躍で入会希望者は増えたが、実はロッカー数が少なかったため、今までは受け入れることができなかったというのだ。

それが1月に解決した。ロッカーの入れ替えを行い、「400人分だった

ロッカーを一挙に460人分増やして864人分にしたのだ。曜日で利用者が多いのは土曜日。時間帯によつては400人の子供が押し寄せ、入れ替えを考えると800人分のロッカーが必要だったが、さすがにロッカールームのスペースの拡張はできなかったものの、今回のプラスチックロッカー「フジプラ」導入で長年の悩みが一挙に解消した。

「これまではスチール製のロッカーを使っていたが、濡れた水着を入れる為、どうしてもロッカーが錆びてしまふ。持つて3年くらい。プラスチックは錆びないという利点はあったが、弱いというイメージがあり耐久性の心配があったが、導入前に試験的に使用してみることができ、耐久性の心配がクリアになった為今回はプラスチックロッカーを導入しました」と出垣部長は説明してくれた。

それが話題のプラスチックロッカー「フジプラ」である。工期は既存設備の撤去・他の工事との絡みもあり3日間。設置はきわめて簡単に、ばらばらになってタンボールに入っている部品を組み立て、レイアウト通りに設置し、鍵をつけて完成だ。1ボックスに組立てるのに要する時間は約1〜2分。分解も簡単に出来るという。これまでのロッカーは、子供たちの



番号にこだわるか、カラーにこだわるか。その日の気分がロッカー選び

乱暴な扱いで破損するそのまゝなつてしまふケースもあったようだ。フジプラは全てのパーツの交換が出来る。扉以外のパーツも交換が簡単に出来るから「使用禁止」のロッカーが出ない。

写真で見るとおり、カラフル。担当者「耐用年数は10年以上と太鼓判を押す。カラーリングのバリエーションが良いのでよく明るくなりまして、子供たちも喜んでおり、見ていると番号ではなくて色にこだわって使っています」と出垣部長が解説してくれたので、実際の子供たちの着替えシーン撮影しようと思いましたが、男子ロッカーにはほとんど人影なし、残念ながら撮影はできなかった。実は保護者付き添いの時間帯は、男子が女子ロッカーへ入ってしまふ、男子ロッカーはまばらな状態にうっていた。一般的にはお母さんが男子ロッカーへ入って着替えを手伝う傾向があるが、ここではマナー遵守が徹底され、お母さんが男子ロッカーへ足を踏み込むことがないのだ。

驚きはロッカールームが男子6・女子4の比率だったこと。北島効果は、東京SCにたくさんのお母さんの子を通わせていると言った実だった。ロッカー入れ替えが「子供だけで4000人超えを実現させてくれそうである。

乱暴な扱いで破損するそのまゝなつてしまふケースもあったようだ。フジプラは全てのパーツの交換が出来る。扉以外のパーツも交換が簡単に出来るから「使用禁止」のロッカーが出ない。

写真で見るとおり、カラフル。担当者「耐用年数は10年以上と太鼓判を押す。カラーリングのバリエーションが良いのでよく明るくなりまして、子供たちも喜んでおり、見ていると番号ではなくて色にこだわって使っています」と出垣部長が解説してくれたので、実際の子供たちの着替えシーン撮影しようと思いましたが、男子ロッカーにはほとんど人影なし、残念ながら撮影はできなかった。実は保護者付き添いの時間帯は、男子が女子ロッカーへ入ってしまふ、男子ロッカーはまばらな状態にうっていた。一般的にはお母さんが男子ロッカーへ入って着替えを手伝う傾向があるが、ここではマナー遵守が徹底され、お母さんが男子ロッカーへ足を踏み込むことがないのだ。

驚きはロッカールームが男子6・女子4の比率だったこと。北島効果は、東京SCにたくさんのお母さんの子を通わせていると言った実だった。ロッカー入れ替えが「子供だけで4000人超えを実現させてくれそうである。



カラーリングによる効果はロッカールームの革命!しかも軽量、長持ち。移動は簡単。